

第2回：入札契約方式の多様化と建築設計

本シリーズ第1回目では、新国立競技場建築プロジェクトを例にとり、デザインビルドあるいは設計施工一括方式を巡る諸問題を概観した。コスト高騰、入札不調といった現在の景況下、設計と施工の分離を前提とした伝統的な専門の枠組みが侵されていることがまず問題とされるが、本シリーズを通じた目的は、建築生産方式（＝プロジェクト方式＝発注方式）の多様化の必要性と課題を参加者の討議を通じて確認し、デザイン、エンジニアリング、コンストラクションの創造的協働の未来像を展望することにある。

シリーズ第2回は、「入札契約方式の多様化と建築設計」をテーマに、建築設計の立場から品確法がもたらしたインパクトと対応のあり方について討論を進めたい。論点は、建築設計界は入札契約方式の多様化をどのように受け止めるか、建築設計の専門性を尊重する多様化はいかに可能か、多様化を必要とする条件やプロジェクト／ビルディング・タイプとは何か、また、そもそも建築設計（デザイン）とはどの領域を指すのか等、数多い。一方、こうした議論を進めるためには、多様化推進の原動力となった品確法14条・ガイドラインの内容について、建築という立場での読解が不可欠である。土木分野を中心に発想された公共工事の入札契約方式の多様化はどこまで建築に展開可能か、また受発注者間のリスクや責任の布置から見た場合、設計施工一括方式やECI方式は果たして「方式」といえるのかといった論点について、共通理解を深めたい。

- (a) 建築家からみた設計施工一括方式：森暢朗（建築家）
- (b) 公共工事の入札契約方式の適用に関するガイドライン（国交省）をどう読むか：古阪秀三（京都大学）
- (c) コメンテーター：近角真一（建築家）

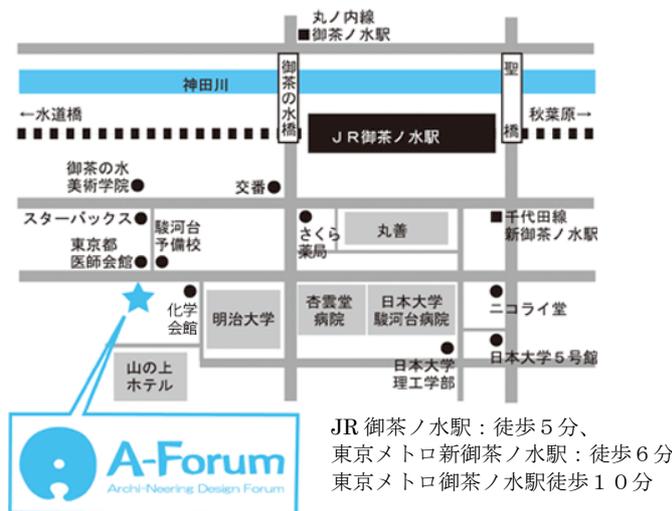
日時：平成28年5月31日（月）17:30～19:00

（終了後会場にて懇親会を行います）

会場：A-Forum（東京都千代田区神田駿河台1-5-5 レモンパートIIビル・5F）

電話：

03-5281-7880



会費：3,000円

申込方法：定員40名先着順 メールフォームにて申し込みをお受けしております。

→<http://www.a-forum.info/contact/form.html>

『お問い合わせ内容』に必ず「5月31日第2回アーキテクトビルダー研究会参加希望」と明記してください。

幹事：斎藤公男（A-Forum 代表、日本大学名誉教授）、廣田直行（日本大学教授）、布野修司（日本大学特任教授）、安藤正雄（千葉大学名誉教授）